

animal donation magazine

公益社団法人

アニマル・ドネーション 活動報告 <第14期>

animal
donation

ad

キモチをカタチに。



シニアでも猫と暮らせる!?
ツキネコ北海道が取り組む
「永年預かり制度[®]」とは?

動物に関する世界各国の法律
～スペイン編～

企業・団体との寄付企画も!

アニマル・ドネーションなら
さまざまな方法で寄付や支援ができる



シニアでも猫と暮らしたい!

ツキネコ発

「永年預かり制度」[®]とは?

保護団体や行政施設では、保護動物の譲渡の際に年齢の制限を設けるケースが少なくありません。超高齢化社会が進む今、緩和されつつはありますが、シニアだという理由だけで、犬猫と暮らすことを制限することが現実的なのでしょうか。シニアは急な入院や要介護になること、また突然の死去などで飼育困難に陥りやすいと考えられています。ですが一方では、犬猫と暮らすことで身体的にも精神的にも健康が増進されるという効果もあります。特に独居シニアの場合、犬猫の存在が生きる支えになるという話も。犬猫を飼いたいシニアが、安心して犬猫を迎え入れることができる環境を整えることが求められているのではないのでしょうか。

そんな社会背景を見据え、いち早く猫の「永年預かり制度[®]」を立ち上げ、環境の整備に積極的に取り組んでいる団体があります。北海道の札幌を拠点に年間600頭を超える猫の保護活動をしている「特定非営利活動法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道」です。代表理事の吉井さんに、この制度の仕組みや意義について、お話を伺いました。

特定非営利活動法人
猫と人を繋ぐツキネコ北海道
代表理事 吉井美穂子さん。
2012年から猫の「永年預かり制度[®]」
をスタート



シニアのライフスタイルにマッチする猫を

猫の「永年預かり制度[®]」は、ツキネコ北海道が保護した猫を、所有権は団体に残したまま、シニアの方々に預かってもらうシステムです。通常の譲渡と同じように、終生飼育を前提に猫が亡くなる日まで一緒に暮らしていただきますが、もし永年預かりさんが病気などやむを得ない理由で世話ができなくなってしまった時は、ツキネコ北海道が再び猫を引き取ります。

預ける猫はとことんお話をしてカウンセリングで決定します。「このマッチングの仕方が『永年預かり制度[®]』のカギですね。その方の暮らしぶりやニーズを理解して、それにあった猫を選びます。ツキネコで

永年預かりさんには
「猫の永年預かり証明書」を発行。
リビングや玄関、冷蔵庫など、
すぐに目につく場所に
貼ってもらいます



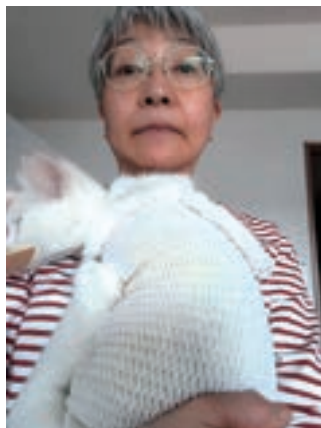
は常に、『その方がどうしたら猫を飼えるのか』、という視点を大切にしています」と吉井さん。シニアだからと譲渡を制限するのではなく、シニアのライフスタイルにマッチする猫を譲渡することで、飼育の不安を解消しようという考え方です。

とはいえ突然の入院や死亡など、不測の事態にはどう対処するのでしょうか。『猫の永年預かり証明書』をリビングなど見やすい場所に貼ってもらいます。そこには猫の名前や特徴、ツキネコ北海道の連絡先が書いてあるんです(吉井さん)。飼い主に何かあっても、ツキネコ北海道に連絡が来るようなセーフティネットも整っているので安心です。

ペット飼育経験のないシニアでも

猫の「永年預かり制度®」を実際に利用して、4年前に猫を迎え入れた加藤さんにお話を伺いました。ご主人に先立たれ、寂しい思いをしていたところ、知り合いからこの制度を勧められツキネコ北海道に。ペット飼育経験のない加藤さんだったので、性格が穏やかで、人慣れしていて、体重の軽い雌猫がマッチングされたそう。「しおり」という新しい名前を付けて、二人の暮らしが始まりました。「来てすぐにウチになじんでくれました。抱っこが大好きで、抱っこしてと脚を登ってくるんです。いつもべったりくっついて、とても甘えん坊。『あなたはウチに来て本当によかったね』とよく話しています。子どもがいないので、娘のように可愛い。しおりちゃんとの暮らしが楽しくてしかたありません」と加藤さん。リビングの見やすい場所に「預かり証明書」を貼っているそうです。「この制度がなかったら猫との暮らしなんて考えられなかった。とてもいいシステムですね。年をとっていてもひとり暮らしでも、安心して猫を飼うことができます(加藤さん)。

シニアが猫を飼う時に必要なポイントをお伺いしたところ、「愛情と経済力でしょうか。何かと入用ですから」と加藤さん。実は先日しおりちゃんに大病が発覚。「乳がんでした。2回の手術をして、今は転移がないか観察中です。ツキネコさんに相談もしないで、即手術に踏み切りました。手術費など色々かかりましたが、娘ですから当然です」。余命宣告を受けたしおりちゃんですが、加藤さんの深い愛情のもと、幸せに人生をまっとうしてほしいと願わずにいられません。



2回にわたる大手術を終えて、加藤さんに甘えるしおりちゃん

年齢を理由に、猫との暮らしを諦めてほしくない

猫の「永年預かり制度®」をスタートして以来、すでに400人以上が利用しており、昨年はツキネコ北海道の譲渡全体の2割と、利用者の数は増加の一途。それだけニーズが高いということが分かります。「この制度を利用している方にアンケートを取ったところ、たくさんの熱い回答が集まりました。『会話が増えた』『元気でいなきゃと思う』『大きく生活が変わった』など、裏までびっしり書き込まれていて、涙



利用者から集めたアンケート。この制度の必要性を実感する回答ばかり

が出ました」と吉井さん。2頭目を預かっているシニアや、78歳で6頭目になる方も。今後ますます高齢化社会が進んでいくにあたり、シニアへの譲渡を受け入れないと、譲渡先はどんどん減っていくことが予想されます。譲渡率が悪くなると、保護団体はバンクしてしまうし、猫たちの福祉にもマイナスの影響が出る結果に。

「一日でも早く譲渡した方がいいんです。保護施設にいるより、一緒に暮らしてくれる人がいる場所が絶対いい。だから、むやみに譲渡条件を厳しくしないで、じっくり話し合っって相応しい子を譲渡することが、猫にとっても団体にとってもシニアにとってもベストだと思います。シニアには、年齢だけを理由に猫との暮らしを諦めてほしくないし、保護団体にはシニアでも最後まで猫と一緒に暮らせる選択肢を作ってあげてほしい」と吉井さんは語気を強めます。『「永年預かり制度®」は我ながら本当にいい制度だと思います。全国に永年預かりの輪を広げたいので、関東や沖縄とも連携を強化中です。北海道以外の方もお問い合わせください。また、保護団体やボランティア活動をしている方にも、ぜひ『永年預かり制度®』をスタートしてほしい。視察や質問など受け付けていますので、遠慮なくどうぞ!」



北海道のみならず、全国にネットワークを拡大中

平均寿命も健康寿命も延び、人生100年時代と言われる現在。シニアも安心して犬猫を飼育できる環境が整い、人と動物が心身ともに健康に暮らせる社会のために、『永年預かり制度®』は大きな役割を果たすに違いありません。

DOG DUCAの「シニアドッグ・サポーター」制度

シニアと高齢犬が支え合える社会を！

「特定非営利活動法人DOG DUCA(ドッグデュッカ)」が展開する「シニアドッグ・サポーター」制度。これは、主に高齢の飼い主の死亡などのため行き場を失った高齢犬を、シニアにつなぐ制度です。

犬との暮らしを希望するシニアの多くは、犬の飼育経験があります。高齢犬の介護や看取ったこともある方がほとんど。また高齢犬は穏やかな性格の子が多く、寝ている時間も長いので、飼育の負担が少ない。シニアにとっても高齢犬にとっても、共に暮らすことは、お互いに幸せな選択だと言

えます。この制度は単なるシニアへの譲渡と異なり、高齢犬をシニアの手で幸せにする保護活動の一環なのです。

もちろんシニアならではの不安解消のための対策として、緊急連絡先が記載された会員証があるので、万が一の時は「DOG DUCA」に連絡が入り、犬を保護することができます。

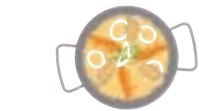
「高齢犬もシニアも、共に幸せになれるようにすることが、人と犬の共存を目指す私たちの使命です」と語るDOG DUCAの高橋さん。高齢者と動物との問題解決の一助となるに違いありません。





世界はこんなに違う！ 動物の法律

アニドネでは日本の犬猫の動物福祉を向上させるための問題提起&アクションサイトAWGs(<https://www.animaldonation.org/awgs/>)を運営しており、その活動の一環として、動物に関する世界各国の法律を調査しています。調べを進めていくうちに分かったのは、多くの意外な国が、日本より動物にやさしい法律を持つこと。特にスペインは、日本に比べると経済規模が小さいにもかかわらず、2020年の世界動物保護協会による動物保護指数(API)ランク¹⁾はCで、Eの日本より2段階高い評価を受けています。さらにスペインでは2023年に新たな動物福祉法²⁾が制定され、よりいっそう動物にやさしい国になりました。犬と猫に関するスペインの法律のうち、特徴的なものをいくつか紹介します。



画像はイメージ

動物は意識(感受性)を持つ存在として尊重すべき

法律上、動物をどのような存在と定義するかは、国によって大きく異なります。日本の法律では古代からの法世界の考え方に従い、「人」と「物」の二元論で捉えており、民法上、動物は「物」に分類されます。しかし現代の日本人の多くは、このような定義に違和感を覚えるのではないのでしょうか。

一方、欧米ではこうした古い概念が変わり始めており、動物をより人に近いものと定義するようになってきました。スペインもそのひとつで、新たな動物福祉法²⁾には、動物は「意識(感受性)あるもの」であり、適切な取り扱いや尊重、保護を受ける権利を持つと記されています。特にペットについては「家族の一員」とみなし、健康で衛生的な状態を保つよう、飼い主に求めています。

また2021年に行われた民法・抵当法・民事訴訟法の改正³⁾では、離婚や別居をする際、裁判所がペットの「共同親権」を定めることが可能になりました。この法改正も、ペットは家族の一員であるという考え方を反映したものといえるでしょう。

犬を飼う前の講習受講が義務に

では、スペインにはどれくらいのペットがいるのでしょうか。2022年のスペインの人口は約4,760万人でしたが、鑑賞魚を除くペットの総数は2,300万匹以上にのぼりました⁴⁾。特に人気なのは犬で、総数は931万頭⁴⁾と、同時期の日本(705万頭)⁵⁾を上回っています。これを反映してか、スペインの動物福祉法では特に犬の飼い主に対し、無責任な飼育を防ぐための条文をいくつか定めています。



画像はイメージ



- 首都：マドリード
- 言語：スペイン(カスティージャ)語
- 人口：約4,760万人(2022年)
- 面積：50.6万平方キロメートル(日本の約1.3倍)

外務省 スペイン王国(Kingdom of Spain)
基礎データより(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/data.html#section1>)

たとえば犬を飼う前には必ず、飼育に関する講習を受けなくてはなりません。また飼い主は犬の生涯を通じて、犬が原因となる第三者への損害を賠償できるよう、保険に加入する義務があります。日本にもこのような法律があれば、飼い主が事前に知識や心構えを持つことができ、不幸になる犬を減らせるかもしれません。

ペットを長時間放置することは禁止

さらにスペインの動物福祉法には、犬を含むペットとの生活に関して15項目の禁止事項があります。たとえば、犬や猫をバルコニーや地下室、車内などで飼育してはなりません。またペットを連続3日以上放置することは許されず、特に犬に関しては、24時間以上の放置が禁止されています。飼い主の最低限の義務を、明確かつ具体的に示していることが特徴的です。

地域猫やシェルター施設は尊重されるべき

地域猫の保護や管理の仕方については、スペインでも日本と同様、たびたび議論になっているようです。動物福祉法はこの点に関する地方行政や禁止事項などに関しても、詳細な条文を設けています。驚きなのは、地域猫と向き合う姿勢にまで言及があること。「市民の義務」と題された第41条には、猫たちの安全や生活の質、シェルター施設などを尊重すべきとの記載がみられます。



画像はイメージ

このような素晴らしい法律を持つスペインですが、残念な点がひとつ。それは、闘牛に使われる動物が動物福祉法の適用範囲外であることです。しかし現在、動物と人、あるいは動物同士を戦わせることを禁止する動きが、世界各地で見られます。スペインでも闘牛廃止を求める声が上がっており、今後の議論の行方が注目されます。

1) World Animal Protection: Animal Protection Index
<https://api.worldanimalprotection.org/>

2) スペイン 動物福祉法(2023年)
<https://www.boe.es/eli/es/l/2023/03/28/7>

3) スペイン 民法・抵当法・民事訴訟法の改正(2021年)
<https://www.boe.es/eli/es/l/2021/12/15/17>

4) FEDIAF(欧州ペットフード工業連合会): FACTS & FIGURES 2022
<https://europeanpetfood.org/about/statistics/>

5) 一般社団法人ペットフード協会 令和4年 全国犬猫飼育実態調査
<https://petfood.or.jp/topics/img/221226.pdf>

※2024年8月時点の情報



2023年
12月1日～

アニドネの新認定6団体をご紹介します

アニマル・ドネーション(以下、アニドネ)は、支援させていただく認定団体の公募を毎年行っています。厳正なる審議プロセスを経て、2023年12月より新たに6団体が仲間入りし、合計39団体となりました。素晴らしい理念と目標を掲げ活動する団体さんをご紹介します。



保護団体

住所：神奈川県座間市

特定非営利活動法人
ざま野良猫を増やさない会猫も人も住みやすい
共生地域を目指す団体

野良猫トラブルは地域の環境問題として捉え、その問題を減らすため発足。地域社会での人と猫の共生を目指し、行政や地域住民の方々と連携しながら、野良猫を増やさないためのTNR*活動を中心に動物の保護・譲渡活動を行っています。
*TNR：野良猫を捕獲・不妊去勢し、元いた場所に戻すこと



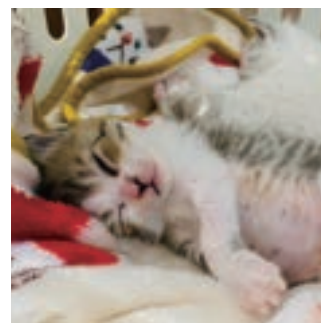
活動開始日：2017年5月(法人化：2019年9月)

保護団体

住所：福井県福井市

特定非営利活動法人
しあわせにゃん家殺処分の猫を救い出し
譲渡型保護猫カフェを運営

猫の幸せを目指し譲渡型保護猫カフェを設立。福井県外からも保護し、譲渡に繋いでいます。3年前に保護猫シェルターを建設し活動を広げるべく法人化。現在は二拠点のシェルターで病気の猫も看取りまで面倒をみられる環境を整えているほか、命の授業や講演会等、啓発活動にも力を入れています。



活動開始日：2018年7月(法人化：2021年4月)

保護団体

住所：千葉県我孫子市

ねこ友会

我孫子市中心にTNR*活動と
子猫や負傷猫を保護

野良猫問題に心を痛め、代表が単独でTNR活動を開始。多くの保護依頼を受け団体を設立すること。現在会員が60人を超え、TNR活動から譲渡まで行っています。訳ありの猫を保護し譲渡に繋げられるシェルターとFIVキャリア用の2つのシェルターを運営。*TNR：野良猫を捕獲・不妊去勢し、元いた場所に戻すこと

活動開始日：2016年4月1日

保護団体

住所：埼玉県八潮市

特定非営利活動法人
ねこひげハウス医療設備を設け終生飼養も
できる保護シェルター

交通事故・虐待等により負傷した猫、障がいや持病持ちの猫、シニア猫などを、積極的に受け入れ、治療を行っています。シェルター内には入院室・医療機器(酸素室、輸液ポンプ、血圧計等)が取り揃えてあり、医療ケア・サポート面が充実。近隣県からの保護依頼にも対応しています。

活動開始日：2011年6月(法人化：2016年12月5日)

保護団体

住所：北海道夕張郡

認定特定非営利活動法人
HOKKAIDOしっぽの会「人と動物が共生する
幸せな社会」を目指し活動

北海道全域の犬猫の保護と譲渡活動を中心に、犬猫への不妊去勢手術を実施。様々な基金により行き場を失った犬猫を救うとともに「人と動物が共生する幸せな社会」の実現に向け活動。啓発活動にも力を入れ「北海道動物愛護センター」の署名活動では、発起人となって約10万筆を集めました。



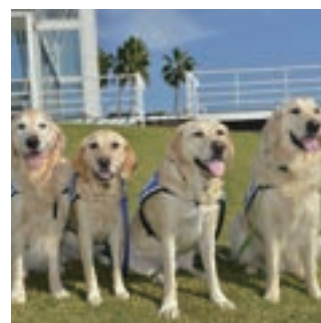
活動開始日：2007年1月(法人化：2010年8月11日)

介在団体

住所：東京都中央区

認定特定非営利活動法人
シャイン・オン・キッズ心のケアを中心に
闘病中の子どもたちを支援

「小児がんや重い病気とたたかう子どもと家族の支援のために」を理念に掲げ活動。子どもたちに心理社会的サポートや退院後までの支援体制の向上に取り組んでいます。日本初ファシリティドッグ*の病院導入を実現。*ファシリティドッグ：病院などの施設で活動するため専門的なトレーニングを習得した犬



活動開始日：2005年9月(法人化：2006年7月10日)

認定団体募集

2024年度は、3月に支援希望の団体エントリーを受付、10月に審議委員会を実施し、12月に認定団体を決定しました。2025年度の募集は、決定次第、アニドネHPで告知いたします。

アニドネなら

\\ オンライン寄付・公式サポーター以外にも、//

さまざまな方法で寄付や支援ができる！

「普通に寄付をするのもいいけど、何か活動を通して寄付することが出来れば…」と思う方のために、アニドネでは、寄付つき自動販売機を設置したり、店頭で募金箱を置いていただくなど、さまざまな方法で寄付に参加することが可能です。

今回はその中でも、企業との「コラボレーション寄付」、商品の一部に寄付をつける「+イイコト」をご紹介します。

コラボレーション寄付

商品購入やSNSでの拡散、サービス利用で
アニドネを通じて認定団体へ寄付できる

ライオンペット株式会社



「猫ちゃんとオーナーにとって理想のトイレ環境を目指して」をブランドテーマに掲げ、とことんやさしい商品開発を続けるライオンペット株式会社。X(旧Twitter)にて、「ずっとニャかよしプロジェクト」が開催されました。猫ちゃんの「プロフィールカード」を作成、または、知りたいことについてハッシュタグ「#ずっとニャかよし」をつけて投稿すると、1投稿につき22円が寄付に。第一弾は2023年2月22日～、第二弾は2023年9月25日～期間限定で実施され、合計45万5,906円のご寄付をいただきました。

プロフィールカードを作成することで、飼い主さん同士でのリアルな声を知るきっかけに



ビオレu



花王株式会社より、2023年11月11日から数量限定で販売された「ビオレu 泡スタンプハンドソープ にくきゅう」。ポンプを押すと可愛い肉球型の泡が出て、思わず笑顔に。パッケージは犬と猫の2種類あり、インテリアにもマッチしやすい、落ち着いた色合いのボトルデザインです。犬猫オーナーはもちろん、犬猫と暮らしていない人でも、毎日の手洗いが楽しくなるハンドソープ。本商品1点につき10円のご寄付をつけてくださり、100万円のご寄付をいただきました。



パッケージにも取り組みについて記載されています

+イイコト

商品(もしくはサービス等)を購入すると、
その売上の一部をアニドネを通じて認定団体へ寄付できる

株式会社KADOKAWA



トリマー資格を持つ、大好きの漫画家・みやうち沙矢さん

「DOG SIGNAL(ドッグシグナル)」は、新米ドッグトレーナーが犬との生活を通して成長していくハートフルストーリー。人気漫画家・みやうち沙矢さんによって描かれた本作は、2018年COMIC BRIDGEにてWEB連載が開始、2019年には書籍化もされました。犬たちとの深い絆を描き、犬との暮らしに役立つ知識満載のストーリーは、SNSなどでも大きな反響を呼び、2023年10月よりNHK Eテレでアニメ化。本著の売上の一部に寄付をつけてくださいました。

作者のみやうちさんから「犬猫のためになにかしたい」とご相談をもらって、寄付先などを調べていました。ですが、動物福祉に関する専門的な知識があるわけではないし、どの団体さんに寄付をすればいいか見当もつかなくて。そんな時にアニドネさんの取り組みを知り、お任せできると感じてお声掛けしました。(株式会社KADOKAWA 宮内彬起)

株式会社フラワーリング



アクセサリや生活雑貨など、製作から卸売りまで幅広く展開されている株式会社フラワーリング。2023年11月1日の“犬の日”に、第3弾のチャリティー企画を実施。骨型のカラビナがついた「愛犬といつでも一緒のミニサイズポーチ」が登場しました。第4弾では2024年2月22日の“猫の日”に、猫しっぽのスライダーが特徴的な「思わずおうちに連れて帰りたくなっちゃう猫のポーチ」を販売。ポーチの売上の3%に寄付をつけてくださいました。

まだまだ道のりの長い殺処ゼロを目指して、継続して企画を行わせていただきました。支援が必要な動物たちにはもちろんですが、動物と一緒に暮らしている方たちにも安心と幸せを感じられる暮らしを送っていただきたいです。これからも継続して少しでもお役に立てられる様に頑張りたいと思います。(株式会社フラワーリング 片山曜子)

アニドネ活動レポート＜第14期＞

ITディレクターとしての責務を果たしつつ、より効率的に活動できるようIT環境を整備



公益社団法人アニマル・ドネーション
理事／ITディレクター
藤岡 拓己

2019年6月に理事に就任し、5年が経過しました。あっという間に月日が流れ、プライベートでは一児の父親となり、より環境問題や動物福祉に対する意識が高くなったように感じます。

5年前と変わらず、ITディレクターという立場で活動させていただいており、この一年取り組んできたこととしては、効果分析プロジェクトの立ち上げと管理バックオフィスシステムのリニューアルです。

効果分析プロジェクトは、ホームページやAWGsのサイトに対して訪問してくださった方がどのような体験をされ、アニドネに対して興味を持ってくださったのか、ご

寄付いただけたのか、またどのような方が寄付してくださっているのかなどの分析と、その後の施策を練るものです。一定のKPIを設けて定点的、定量的に分析が進み、いろいろな施策の効果も見える化されました。

管理バックオフィスシステムのリニューアルに関しては、ノーコードを利用した旧システムに利便性やコスト面から限界を感じていたため、ゼロから独自システムを開発。まだ本運用には至っておりませんが、運用開始すればバックオフィスの業務量が10分の1以下になる予定です。

動物福祉の向上という大きな目標に向かって、IT技術を駆使し、少しでも貢献できるよう努めて参ります。

第14期 寄付総額
1億3,155万円

アニドネ公式法人サポーター
(アニドネ自体の活動を応援)

●エグゼクティブサポーター

株式会社
サイバーエージェント



帝京平成大学



株式会社イーふらん



CHERIEE



MY DEAR ANIMAL
MY DEAR ANIMAL



Dog salon Star sea



(有) オーシーファーム



nademo株式会社



SAVE PET
PROJECT



Boehringer
Ingelheim



ネット募金



LINE スタンプ

HaMINT

MARS



ペットライフのよきパートナー



いぬのきもち
ねこのきもち



CREATE YOUR HAPPINESS
HEADS



PARCO



ciiron
TOKYO



第14期 収支表

(2023年6月1日～2024年5月31日)

(単位: 万円)

収入		13,395
	会費	171
	事業収益	69
	受取寄付金	13,155
支出		11,838
	交通・通信費	167
	運営費	841
	支払寄付金	9,770
	委託費	1,060
財産増減額		
期首残高		1,451
当期増減額		1,557
期末残高		3,008

※詳細はHPに掲載している決算書をご覧ください。
※支払寄付金は、アニドネ認定団体への寄付金となります。

◆社名一覧(50音順)◆愛眼株式会社(ねころりんシリーズ)／アイペット損害保険株式会社／アイリンクス株式会社／株式会社アスコットジャパン／アニコム損害保険株式会社／株式会社アニボス／Animal Plaza, Inc.／アマゾンジャパン合同会社 保護犬・保護猫支援プログラム／株式会社アミューズ／杵こま／アンファー株式会社／犬?渠?／INUTO／いぬのきもち ねこのきもち／宇田川湯／ヴィエー ヴァンダム青山／HRビジネスパートナー株式会社／ABCキッズイングリッシュ／合同会社EXNOA／emope合同会社／株式会社桜花／organic pet food COCOCOOL／(有)オーシーファーム／大山神社／株式会社オモヤ コンコトモニ事業部／kakuo gadgets／GAL BENCE TAMAS／NASEF JAPAN／KILONINER／共立製薬株式会社／ギャラリールモンド／くろねこニャーゴのお菓子屋さん／株式会社クロノス／GRANDS株式会社／guesthouse POINSETTIA／株式会社ころ／ゴールドマン・サックス・ギブズ／株式会社サザビリーグ エアランドエスキャンパニー／有限会社 山愛緑化／サントネージュワイン株式会社／ciiron TOKYO／柴犬アプリ シバタロウ／JDTA 日本ドッグセラピスト協会／株式会社ジモティー／ジュエリー工房オレフィーチェ／株式会社ジュニ／菅原工芸硝子株式会社／株式会社SCRAP／株式会社スターリーナイト／株式会社 STYZ／studio CLIP スタディオクリップ／株式会社セレス／ソーシャルギフトサービス(dozo)／ソフトバンク株式会社／TAKALAKA／CHICOどうぶつ診療所／TAKE PACK／株式会社デファクトスタンダード／東京PETHOTEL／東光株式会社／豊島株式会社／ドギーマンハヤシ株式会社／合同会社虹架／日本工業株式会社／NyanCon／株式会社nyans／株式会社ネオス／Next up株式会社／N+Ecology(ネコロジー)／株式会社ねじまき INUMAG／株式会社HaMINT(ハミント)／Bow Wow Store／パティスリーベ／株式会社バルコ／株式会社阪急ハロードッグ／BSテレ東／ビオレ 薬用泡スタンプハンドソープ／PP Kritファン同／50-50 LLC／forZERO(フォーゼロ)／VVV-Craft／furahia ジョンソンタウンのなかまたち／株式会社フラワーリング／ブックオフコーポレーション株式会社 応援プラットホーム「キモチと。」／物品寄付型ファンディングプログラム「お宝エイド」／Premium Apples／株式会社ヘッス／ペーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスジャパン株式会社／BESTY WORKS／ペットアロマウェルビーイング協会／HORSEHEAD LABS／株式会社北成／医療法人星が丘瀬川皮膚科クリニック／株式会社ボーダレス・ジャパン ハチドリ電力／BONEE／マース ジャパン リミテッド／まめきちまめこ／株式会社丸井／三菱地所ホテルズ&リゾーツ株式会社／無為自然／株式会社メイダイ／mogu&share／モトニャワタ実行委員会／Yahoo!ネット募金／山と溪谷社／UDホスピタリティマネジメント株式会社／YukimAgasa／株式会社横浜君崎屋／ライオンペット株式会社／LINE スタンプ／ラグ・ビー株式会社／株式会社RABO／株式会社Reach Script／LieN Design／リボンドネーション公式サイト／合同会社LEO／わいののちから～the power of wine／和歌山染工株式会社／株式会社101

※上記にご紹介させていただいた企業・団体様以外に、オンラインによる個人・団体の寄付者様、全国に設置の募金箱や自動販売機へご寄付をいただいております。

ご支援ありがとうございます。みなさまのご期待に応えられるよう、今後も活動してまいります。

寄付控除について

アニマル・ドネーションは「公益社団法人」です。ご寄付をいただきました個人様は寄付金の優遇税制対象となります。

※企業様については、アニドネHPの「税金控除の対象」内をご確認ください。

寄付金額の40%～50%が戻ってきます

寄付金から2,000円を引いた額の最大50%(所得税40%+住民税10%)が戻ってきます。
例えば、5万円を1年間に寄付した場合、2,000円を引いた48,000円の40%～50%が還付されるのです。※注

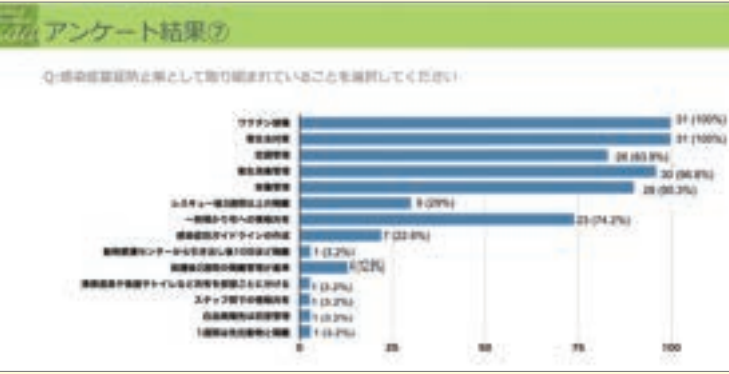
※注 住民税も寄付金控除の対象となります。例えば東京都港区の場合は、控除割合は最大10%(都道府県民税4%/市区町村住民税6%)となります。ただし、各自治体によって異なります。※詳しくはアニドネHPの「税金控除の対象」内をご確認ください。

『いぬねこ保護団体ミーティング2024』 開催報告！

2024年4月、保護活動を行っているアニドネ認定団体向けにオンラインミーティングを実施。4回目の今回は34団体が参加し、事前アンケートから見える問題点のディスカッションと専門家の方のレクチャーなど、活発な議論の場となりました。

アンケートから見える現場の声と課題とは？

事前アンケートは12の設問からなっており、犬や猫の保護活動に対する社会的な環境の評価から団体運営による課題やさまざまな飼育環境についての問題など、多岐にわたる質問に回答いただきました。
保護活動における社会的な環境についてのアンケートからは、法整備や監督強化の不足は課題であり、またメディアにより誤ったイメージや情報が拡散してしまうことの問題意識も高まっているという結果に。
保護活動に対する現状についてのアンケートからは、運営資金や物資の確保が最大の課題であり、感染症蔓延防止策の回答では、隔離対策や症状を見つけにくい環境、動物へのストレスを軽減するために、犬同士の社会化、雰囲気作りの工夫など、さまざまな取り組みの回答がありました。



「ワクチン接種」「寄生虫対策」に続いて空調や衛生、栄養面など、様々な「管理」に取り組み、感染症蔓延を防止している

「シェルターメディスン」を知っていますか？

シェルターワーク&シェルターメディスン（動物保護施設の獣医療）について、日本シェルターメディスン学会会長の田中亜紀先生にレクチャーいただきました。犬や猫のシェルターでの生活においては、「病気の大きな要因であるストレスを軽減すること、それこそが、よりよい譲渡につながる」ということに改めて気づかされました。



「譲渡率の向上」を求める声が多く、今後の課題として検討が必要

ミーティングの最後に、いくつかの団体さんの特徴となる活動について紹介いただきました。生きづらさを感じる若者と保護犬の両方を支援する「認定特定非営利活動法人キドックス」。日本初、少年院で保護犬を訓練する教育プログラムを生み出した「公益財団法人 ヒューマン財団」。保護猫の「永年預かり制度[®]」の仕組みを作った「特定非営利活動法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道」。団体さんの動物福祉への思いや熱量が伝わる有意義な時間となりました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

アニドネ主催

「STORY with PET」 第6弾

キャンペーンの趣旨

犬や猫たちにとって、おやつはしあわせの瞬間の1つ。
ですが、保護された後、生きるためのご飯や安全なお家、治療などが優先され、嗜好品であるおやつまで提供できる保護団体は限られています。
“保護犬・保護猫にもおやつを食べてほしい。
そして、しあわせを感じてほしい”
そんな想いから、“おやつを寄付する”プロジェクトを、
2024年3月1日～4月30日の期間に実施いたしました。



おやつ（の寄付方法は、
ペットとのエピソード
を1投稿で100円、
SNSでの1いいねで
50円分のおやつ（画像
はおやつ（のイメージ）

22万3080円分のおやつを、
アニドネ認定団体の保護犬・猫に
お届けしました！

届いたおやつを楽しむ、保護犬・猫たち



特定非営利活動法人
ねこひげハウス



認定特定非営利活動法人
ベッツ・フォー・ライフ・ジャパン

アニドネ勉強会報告

帝京科学大学の学生さんに向け 動物福祉の講義をリアル開催！

2023年7月に、帝京科学大学アニマルサイエンス学科の学生さんに向けて動物福祉の講義を実施しました。アニドネがリサーチを続けてきた日本や海外の動物福祉の最新情報や企業さんとのプロジェクト、保護団体さんとの企画など、日本の動物福祉をトップレベルにするための取り組みをお話いたしました。
動物看護師など動物関係の仕事に就く学生さんが多い学科のため、「とても興味のある分野で楽しく参加できた！」「既にボランティアに参加しているので自分事に感じられた」と前向きな感想をいただきました。



賛助会員プログラム

「アニドネ公式 サポーター」 募集中

会員費は、アニドネが支援団体を選考する際の調査活動、オンライン寄付サイトの運営、動物関連のリサーチ&情報発信活動に活用いたします。



- ①個人会員：アニドネ公式サポーター
会費：毎月1,000円、3,000円、5,000円、10,000円
会員資格：どなたでも可能
- ②ジュニア会員：アニドネ公式ジュニアサポーター
会費：毎月500円
会員資格：18歳未満
- ③法人会員：アニドネ公式法人サポーター
会費：年間30,000円～ ※賛助期間：1年間～
会員資格：動物福祉に沿っていない企業を除く全企業
※法人として一定の審査あり

magazine STAFF



EDITOR アニドネ 山本和子



DESIGNER 赤星淳一

animal donation magazine vol.9
(2023年6月～2024年5月)
発行：公益社団法人アニマル・ドネーション
住所：東京都港区南青山2丁目 15-5 FARO1F
代表理事：西平衣里
URL：https://www.animaldonation.org/